

第21回(2018年度)

七十七
ビジネス
大賞

キョーユー株式会社



代表取締役
畑中 得實 氏

●企業の概要

企業名：キョーユー株式会社

代表者：代表取締役 畑中 得實

住所：宮城県遠田郡美里町関根字新苗代江
149-1

設立年：1980年（創業 1974年）

業種：生産用機械器具製造業

資本金：88百万円

従業員数：95名

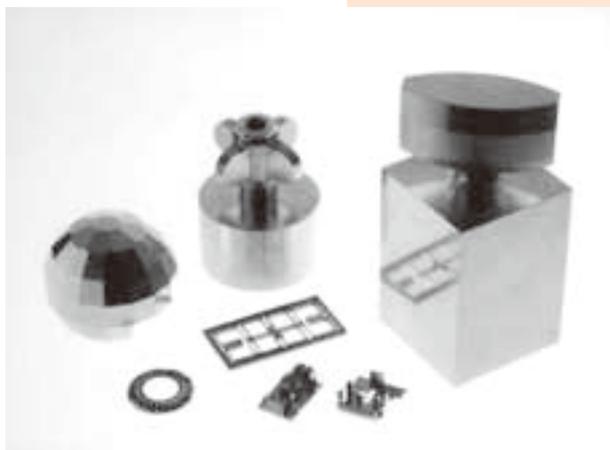
●事業の概要

当社は精密機械加工をコア技術とし、産業用省力化機械装置、治工具、精密プレス・ワールド金型、精密機械部品や金型部品などの設計・製作を行う製造会社。自動車や半導体製造装置など様々な事業分野に参入し、県内外の大手メーカーと取引を実現。



本社

難削材加工における高い技術力で新分野へ積極的に挑戦し、県内ものづくり企業をリード



金属加工部品



難削材加工作業の様子



“雄勝石”を加工した盃

●受賞の理由

県北の大崎地域は大手メーカーを中心に電子デバイス関連の製造業が盛んであり、当社も創業以来電子デバイス事業を中核に精密機械部品加工等を行ってきた。受注生産に加え、設計から組立・出荷までの一貫生産体制により設計技術力を付加した提案型の営業を実施。ITによる納期管理および各工程の集約や「夜間休日稼働」の生産体制等によりスピード面でも他社との差別化を図り、着実に成長を続けてきた。

特に、チタン合金等の難削材の高精度な切削加工や精密微細加工において高い技術力を持ち、2008年から自動車、航空宇宙、半導体製造装置、医療機器などの高付加価値産業への新規参入を図り、大手の自動車メーカーや半導体製造装置メーカーなど県内進出した大手企業との取引を実現するなど、当社の技術力に対する評価は高い。

2012年に県内の中小製造業者が航空機産業への参入を目指す共同受注体「エアーズみやぎ」に代表幹事企業として参画し、県内の航空機関連産業の発展に努めている。これは県内の中小企業が一体となって新たな産業分野へ参入する取組であり、県内ものづくり企業のリーダーとして地域経済に貢献してきた実績は大きい。

2018年にはこれまでの実績が評価され、「富県宮城グランプリ」を受賞した。

また、東日本大震災で甚大な被害を受けた雄勝地域の復興を支援するため、県内企業および大学、地方自治体との連携により難削材である“雄勝石”を加工したペーパーウエイトや盃などの商品開発に協力するなど、産学官連携、地域経済貢献への積極的な取組も評価できる。

当社は更なる事業拡大を目指し、電力プラントなどのインフラ事業への参入に取り組んでおり、今後も県内の製造業者を牽引する企業として更なる成長・発展が期待される。